



学校法人浄泉寺学園

洗心幼稚園 認定こども園

令和8年度 入園説明資料



令和7年8月

浄泉寺学園理念

当学園は、「慈しみのこころを育て、いのちを大切にする保育」「心身ともに健やかな子どもを育てる保育」を根幹に据え、就学前の数年間を人生の土台を築く時期として大切にします。かんのん山の豊かな自然と、浄泉寺に息づく静かな宗教的情操に見守られた環境の中で、子ども一人ひとりの最善の利益を常に中心に活動しています。

私たちは「共に生き、共に育ちあう保育」を掲げます。子供、保護者、教職員が互いを尊重し、協力して成長を支える姿勢です。毎日の生活と遊び・学びを基盤に、あいさつや身支度などの生活習慣、体を動かす活動、ことば・数・音楽・造形といった基礎的な学びを丁寧に積み重ね、思いやりと礼節、自分でやってみる意欲、やり抜く力を育みます。

教育は一朝一夕に成果を求めるものではありません。日課を整えて一日のリズムをつくり、集中して取り組める時間を確保します。観察と記録に基づいて個々の発達段階と興味に沿った支援を行い、確かな成長へ導きます。宗教的情操は生命への敬意と感謝を日常に息づかせます。

安全と倫理は最優先の責務です。法令と各種ガイドラインを遵守し、事故防止や防災、不審者対応、アレルギー対応の体制と研修を継続しています。記録と情報共有に基づき、教育・保育の質を継続的に高めます。

家庭との連携は園の力そのものです。成長の姿をわかりやすく伝え、悩みや不安に向き合います。園は専門性と誠実さをもって対応し、地域にも開かれた学びの場として、子供が社会の一員として育つ基盤を築きます。

ここで過ごす日々が、やがて大人になったときに「洗心でよかった」と実感できる確かな経験となるように。変わらぬ理念と柔軟な発想で、学園を挙げて子どもたちの未来を支えていきます。

学校法人浄泉寺学園

理事長 佐野 延洋

洗心幼稚園 認定こども園経営理念

仏教的精神を以て幼児教育活動をし、感謝と慚愧ある自立した人間を育て、
地域社会、日本社会、そして人類世界に貢献すること。

教育・保育方針

慈しみのこころを育て、「いのち」を大切にする保育

心身ともに健康な子供を育てる保育

基本的生活習慣の習得

善悪の判断の習得

早起き・朝ご飯・早寝の生活習慣の習得・実践



1. 元気で明るい子供

- ・「にこにこ」元気で明るい子供を育みます。
- ・明るい笑顔で登園し、にこにこ元気に挨拶し、みんなと遊ぼう！
- ・明るく元気な笑顔と挨拶が、人間関係をゆたかなものしてくれます。

2. 何でも一生懸命にできる子供

- ・何でも一生懸命にできる、「がんばれる」子供を育みます。
- ・卒園までに逆上がり、逆立ちができるように、目標を持って一生懸命がんばります。
- ・毎日、ほんの少しでいいのです。その努力が実るときが来ます。
- ・幼児期に一生懸命にやって出来るという実感。「達成感」「自己肯定感」「満足感」などは、「やればできる」という自分に自信をもてる子を育てます。
- ・教育の場では「非認知能力」や「社会情動的スキル」が大切ということが盛んに言われるようになりました。「頑張れる」「努力できる」「チャレンジできる」「継続する・やり遂げる・諦めない」「協力する」「工夫する」という数値化できない能力（＝非認知能力）を、園生活の様々な場面から高めていきます。

3. 素直に「はい」といえる子供

- ・素直に「はい」と言える、素直な心を育みます。
- ・ありのままの私に、「はい」と言える素直さを大切にします。
- ・耳を傾け、寛容する素直な心を大切にします。
- ・素直さは、コミュニケーションの第一歩。コミュニケーションは先ずは相手を受け入れること。素直な心は人間関係を豊かにします。



4. 「ありがとう」と感謝のこころをもてる子供

- ・「ありがとう」と感謝のこころと、「ごめんなさい」という惭愧の気持ちをもてる子供を育みます。
- ・私たちは誰一人として「ひとり」では生きていけません。
- ・数々のご縁に、「ありがとう」と感謝できることが、心と人生をゆたかにしていきます。
- ・そして、他者の力なくては生きていけないことに「ありがとう」と同時に、「ごめんなさい」「申し訳ない」と、惭愧できる人間になってほしいと願っています。

1. 今こそ「こころ」の教育を

新聞やテレビを見れば、痛ましいニュースが目につきます。今こそ、まさに「こころ」の教育が必要とされる時代です。

「こころ」そのものは、見えないが故に、どう育っているのか、どうすれば育つか、計り知れないものではありません。しかしながら、毎日、幼児の姿を見ていると、その答えが自然と見えてきます。それは、体が大きくなるにつれ勝手に育つのではなく、人と人との関わりを通して主に育ち、自分が自分という『人間』と向き合う時間もそれを支えます。多くの愛着理論や非認知能力の研究でも、安心できる大人との関係が情緒や自己調整の土台になることが繰り返し示されています。

2. 子どもは「見て・真似て・続ける」

たとえば、皆さんご存知の通り、子どもは教えられずとも周りの人たちを「見て」真似をします。

唐突なようですが、なぜ子どもは立って歩くのか。日本語を話すのか。…それは、周りの大人たちがそうしているからです。つまり、子どもたちは、良いことも悪いことも関係なしに、「見て」真似をし、その実践を継続しているからです。だから立って歩き、日本語を話すのです。「真似」は学習の主要経路であり、もちろん「こころ」の育ちにも大きく関わります。観察→模倣→定着という流れは、心の育ちにも確認されることでしょう。

3. 「優しさ」と「甘やかし」

だからこそ、優しい心の持ち主との関わりを持っていると、優しい心の子どもが育ちます。親切に触れた子は人にも親切にしてあげられるのです。ものを大切にしている人とふれあえば、自ずと見習うのです。頑張っている仲間、諦めず何度も挑戦している仲間、に囲まれていれば、努力すること、やり抜くことを学ぶのです。そして、いのちの尊さを知り、そのかけがえのない「いのち」を大切にしている人と出会えば、いつの間にかその様な心の持ち主となっていくのです。本当の優しさを持つ人と出会えば、自ずと優しい人となっていくのです。

でも、優しさと甘やかすことは別のことです。3歳の時分では出来ない私たち大人が「勝手に」思い込んでいることがたくさんあります。出来ないからといって何でもやってあげてしまうのは、優しさではなく「甘やかし」です。その子から本来あるはずの成長の機会を奪っているのです。

本来、子どもは、「成長したい」「大きくなりたい」「出来るようになりたい」という欲求を、大人以上に存分に持っているのです。

だから、本当の優しさとは、出来ないから手を出すことではなく、出来るように導き、待ち、見守ることです。子どもでもやり方を学び（見て真似て）、時間をかければ自分で出来ることが本当はたくさんあります。必要な足場かけを施し、少し背伸びすれば届く課題で成功体験を重ね、徐々に手助けを外していく。これは最近接発達領域の考え方で、適切な援助は自己効力感と自立を高めていくことが示されています。

4. 挑戦・失敗・成功の循環が「こころ」を大きくする

困難に立ち向かう経験、挑戦する経験、しかも他の誰でもない自分に挑戦する経験。そして失敗し、その積み重ねの上にある「出来た！」という成功の経験。そういった経験を通して自分と向き合うことが「こころ」を育てます。知りたい、学びたい、出来るようになりたい、大きくなりたい、「成長したい!!!」そういった意欲がより大きく育っていきます。

挑戦は、適切な難易度で設計し、失敗も学びに変える伴走を重視します。当学園の教育は、努力や課程に目を向け「望ましい困難」を通じた学びであります。そういった経験をする場が戦略的に設定されています。

5. 異年齢の中で「育て合う」

園では、0歳の子どもも一緒に生活しています。小さな子（乳児）には、お兄さんお姉さんの様々な姿を見せてあげることで、ふれ

あいの時間を作ることが双方の成長につながっています。

年少さんも、少しでもお兄さんお姉さんの扱いをしていきます。3歳児を「お兄さん・お姉さん」扱いすることで、年少であっても伸びていく機会が増えるのです。

子どもは関係性の中で育っていきます。まわりに頑張っている子がいる環境では、モデルとなる姿に触れて自然と頑張りを学び、思いやりやリーダーシップも育ちやすくなります。そのため、当園では異年齢活動において年齢に応じた役割設計と保育者の配置も計画しています。こうした条件下では、向社会性や自律の向上が期待されていきます。

6. 「のびのび」と「規律」は両輪

園では、子どもの健やかな成長のため、ただ単に自由にのびのびだけではなく、同時に、ルール・規律のある生活の中で保育をしていきます。（規律ある生活の中にこそ自由が活きてきます。）

さらに、新しいものに挑戦し、失敗し、自ら学んだことの中から、人として生きるために何をしたいか、何をすべきか判断できる人となってほしい。

そして、それらを思考する根っこである『心の力』、教えられるだけでなく「学びたい」から学び「出来るようになりたい」から進んでやる『学ぶ力』、意志・思考をかたちにし実現する土台である『身体力』を育てます。

（安定した日課・十分な睡眠・適度な運動といった生活リズムは、注意・抑制・ワーキングメモリなどの実行機能を支え、学びや感情調整にも良い関連があることが介入研究でも示されています。）

7. めざす子どもの姿と見通し

そして私たちの最終的な目標は、**他者の気持ちに思い遣れる人間を育てることであり、自分で考え行動できる、自立・自律できる人間を育てることです。そして、その結果、他の人がうれしいことが出来る、他の人を喜ばせることが出来る、社会に貢献できる人間に育てることです。**

幼少期の非認知能力の充実、思春期・成人期の学業・就業・健康などに良い影響があることが知られているように、私たちの教育は、『今』を見つめ、15年20年先を見据えた活動です。

こころが育つと学びが伸び、学びが伸びると未来が拓ける。

この当たり前のことを、毎日の生活で確かなものにしていきます。園とご家庭が同じ方向を見て、子供の「できた！」を積み重ねていきましょう。



教育目標を実現するために

成長は**継続**が一番。継続を大切にします。



●毎日！

・朝登園してすぐの**駆け足、体操、絵本読み**を、毎日おこないます。たとえ少しの時間でも、「毎日」というのがポイントです。少しの時間でも毎日おこなうことで大人の想像以上の成長があります。

・広い野原やホールなどに行くと、子供は意味も無く走り出します。そうです、子供は本来走ることを動き回ることが大好きなのです。駆け足や体操で、その**身体的欲求・運動欲求を満たして**あげることで気持ちが落ち着き、次の活動への意欲へとつながります。

Point! ・毎日継続するためには、**量(時間)よりも継続**を意識しましょう。無理のない量を続けます。だんだん欲が出てきて量

が増えると続かなくなります。「え？ 少くない？」くらいでOK。

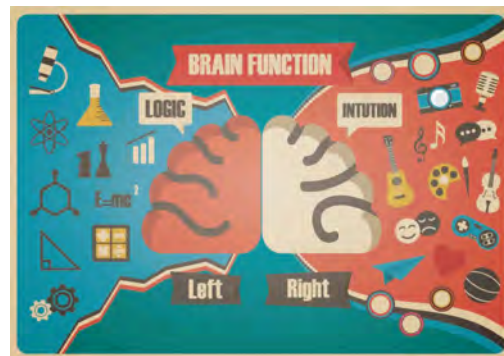
●駆け足＝脳トレ

・朝一番の**駆け足**は、心拍数を上げ血流を良くし、肺でたくさんの酸素を取り入れ、**脳へ酸素とブドウ糖**(脳を働かせる一番のエネルギー!)を送り込みます。つまり、**走ることで脳が「活性化」した状態**になり、エネルギーを送り込まれた脳は成長の準備を整えます。(だから、朝ご飯はとても大切です。)

・そして、その後の活動への集中力・記憶力などを高め、運動後**30-60分**学習効果を引き出すことが研究データにより分かっています。

・同時に、発汗機能や心肺能力、筋力を高め、子供の猫背姿勢から、背筋の伸びた大人の姿勢へ、姿勢が良くなっていきます。

・経験上、足の速い子や体操の進んだ子は、身の回りのことが出来るようになっていきます。子供の身体の中でどういうことが起きているか考えてみると、**脳の発達**が促進されていることが想像できます。駆け足に限らず、運動(とくに、有酸素運動)することで、脳にエネルギーを送り込み、脳の発達を促すのです。脳を育てる『育脳』と言うことは、運動することが欠かせない要素なのです。



●絵本読み。絵本を好きな子になってほしい。

・朝一連の運動後の**絵本読み**は、子供の脳が最大限に活動する時間。字を追っていくことで子供の顔が上気するのが分かるほどです。絵本読みは、**絵本を読むことが好きな子になって欲しい**、本読みの好きな子を育て、活字から自分の力で知識、知恵を得られるような人間になってほしいと願いのもと行っています。

・では、どうしたら本が好きになるのか。**好きになる初めの一歩は、出来る!!わかる!!読める!!という経験**です。大人でも訳の分からないもの、出来ないものは好きになれません。子供も同じです。園では出来るようになる、そのための環境を用意しています。

・絵本を読むことは左脳の発達を促し、絵本を読んでもらうことで右脳の発達を促します。**言葉がまだ分からないかな、という赤ちゃんでも、お母さんの声で絵本を読み聞かせることで、大脳辺縁系(本能・情動の部分)に働きかけ、情動が深まりやすいとされます。**

Point! ・ご家庭では、ぜひたくさんの読み聞かせをしてください。**本が楽しいことを経験させてください。**

・同時に、親自身が本を読み楽しむ姿を見せてください。何事も「まねること」から始まります。親がスマホに夢中なのに、子供が本好きになるというような、そんな都合の良い話はありません。



●ところで皆さん、今日はどれくらい歩きましたか？ 車ばかりではないですか？

・便利な世の中になり、大人も子供も運動不足の世の中となりました。どこに行くにも車移動。駐車場は我先にできるだけ近く近くを探し停める。行った先ではエレベーターにエスカレーター。重い荷物はネット購入。こんな世の中になりましたので、大人も子供も意識しないと**運動不足間違い無し**です。先は子供でも生活習慣病になるのです。

・子供の場合は深刻です。子供の時期に運動不足になるということは、この時期に本来あるべき神経系(運動神経)の発達も望めないということです。

・まして、佐野市のような地方都市に住んでいれば、車移動が当たり前です。たぶん、ほとんどの方が車移動でしょう。園に通う子供も、ほとんどが「どこでもドア」・・・Door to doorです。

・実は、**都会に住んでいる子供よりも運動不足になる可能性が高いのが、地方に住む子供達の姿**かもしれません。だからこそ、園の中でたくさん活動する場面をつくる必要がある。そういった理由からも園では体操をします。

・幼児期は遊びが大切といえます。もちろんその通り遊びも大切です。ですが、遊びだけではこの時期に必要な運動量(最低1日60分以上の身体活動:厚労省指針)が、**足りていない**のです。

Point! ・子供と一緒にときは、ぜひ歩くことを意識してください。イオンに行ってもエスカレーターではなく階段を率先して利用しましょう。エスカレーターは疲れている人や体調の悪い人、足の悪い人が使うもの。元気な子供は自分の足で歩くんだよと説明しましょう。

●やっぱり体操。元気な子になって欲しい!

・**体操の時間**も毎日あります。柔軟体操や鉄棒逆上がり、ブリッジ運動、逆立ち、側転など、我々の普段の生活ではほとんどの場合しないような動きをすることで小脳(運動神経)の発達を促します。つまり『**良い運動神経**』を身につけることを目的に行っています。

・**運動機能を司る小脳は、5歳～6歳までにおよそ80%～90%程度完成**すると言われます。その時期に適切な刺激を『運動』という形で脳に与えることで、いわゆる「運動神経」を劇的に発達させます。入園申込みの前に、ぜひ一度体操の様子をご見学ください。

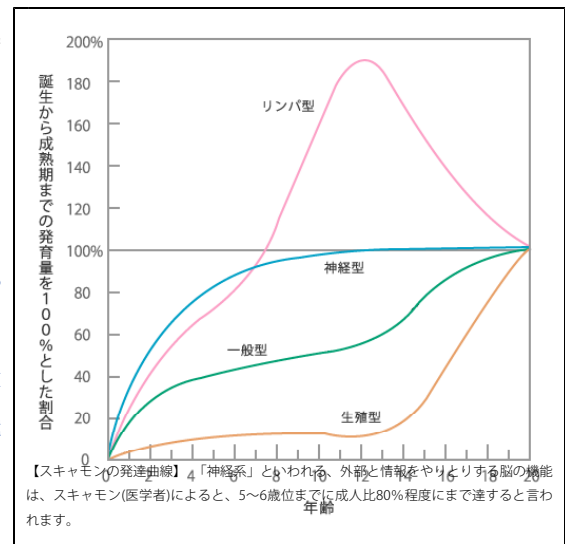
・一度身につけた運動神経は、運動のパターンとして小脳をはじめ大脳皮質、基底核などに記憶されます。そして、また必要になったときにもう一度呼び起こして使うこともできるくらい運動経験は長く効きやすいのです。

・もう何年も自転車に乗っていない人も多いと思いますが、たとえ**10年**乗っていないくとも、ちょっと練習すればすぐに感覚を取り戻し乗れるようになります。何年もやっていないスキーも、やってみれば何となく出来てしまうのは、一度身につけた運動神経は蓄積され無くならないと言うことの証左です。そして、今この**幼稚園の時期こそが、努力をしなくても良い運動神経を身につけられる人生で唯一の期間**です。

・子供は、運動をすればするほど元気になっていきます。子供の回復力はトップアスリート並にはやいと言われます。たくさん運動して、たくさん寝て、たくさん運動して・・・と繰り返すとどんどん元気になっていきます。逆の見方をすれば、運動しない子が元気がないのかもしれない、ということです。もし、周囲に、特段疲れるようなこともしていないのに「つかれた」と言うようなお子さんがいたら、運動不足も疑ってください。

Point! ・スポーツをするなら、幼児期は特定の運動に偏らず、いろいろなことに挑戦してみましょう。

・サッカー好きでも、サッカーだけでなく色々な競技を体験してみましょう。様々な動きの運動を体験することで、可能性を広げていきましょう。



●体操で育てる。体操で教える。

・運動を通して、いわゆる**非認知能力(社会情動的スキル)**:努力する力、やり抜く力・継続する力・粘り強さ、挑戦する気持ち、意欲、自制心、回復力(レジリエンス)、協力する力、**躰**などの点数化しにくい能力・・・を獲得していきます。最近の研究では、**非認知能力が高い人ほど、人生の社会的・経済的成功率(所得や昇進、人間関係など)が高い**と相関関係が示されています。

・独立行政法人経済産業研究所での研究では、以下の**基本的な4つのモラル**

「うそをついてはいけない」「他人に親切にする」「ルールを守る」「勉強をする」

を躰けてもらった人は、そうでない人に比べて、年間所得が約**86万円**多いとのレポートが示され



ています。「躰」の獲得により、社会性の高い価値判断をする傾向に有り、その結果社会的成功傾向の関連が示されています。

- ・体操や絵本読みなどは、そういったスキルを身につけるのに、まさにうってつけです。実に有効に機能していきます。言ってみれば、**絵本や体操を教えるのではなく、絵本や体操で教える、学ぶ**のです。

- ・その他、ひらがなや数字の書き取り、ひらがな/カタカナカード、歌や楽器などの音楽指導、絵画指導などをし、発達心理学や神経科学などの様々な知見から子供の能力を伸ばしていきます。

- ・体操や絵本読み、ひらがなや数字などの教育活動は、すべてに於いて無理矢理(スパルタ教育式)にやらせるものではありません。自分から進んでやりたいと思う環境を用意し、正の連鎖・スパイラルアップを志向します。

- ・幼児期は、無理矢理やらせるということが通用しません。出来ないことを無理にやらせたら、幼稚園が嫌いになってしまいます。まずは、好きになること。つまり、出来た！わかった！おもしろい！ということを増やして行って、良い循環に乗せていきます。

Point! ・子供の楽しいことは、「出来る」こと。言い換えると、出来ないことは楽しくないのでやりません。出来ないことを無理にやらせるとそれが嫌いになります。だから、少しずつ出来ることを積み上げていくのです。出来ると楽しくなってきます。

●仏参・礼拝・しつけ

- ・洗心幼稚園はお寺の幼稚園です。毎日礼拝があります。仏教行事があります。人智至上ではなく、人を超えたもっと大きな存在があるということを子供時分に教えることは、道徳的にも意義あることです。



- ・仏参には、**日本の美意識**に溢れています。たとえば、合掌。美しい日本の形であり、躰の場となります。畳の部屋では、さりげない気遣いを学びます。敷居や畳の縁を踏まずに跨いで渡る。ながら動作をしないなど、大人でも忘れがちな所作を学びます。

- ・先に挙げた**4つのモラル**は、日本人にとっては当たり前のこと。その底流を探れば、**お釈迦様の教え=仏教**なのです。

- ・**「はい」という返事をする。「おはようございます」と挨拶する。履き物をそろえ、椅子をしまう。**この3つの所作が、躰の総ての基本となります。きちんとした躰は、その意味が分からないうちに身につけさせてやるのが必要なことかもしれません。園ではそうできるよう繰り返し支援をしていきます。中学生や高校生になってから躰をやりなおすのは、本人の労力も時間も、そして親の根性も社会的リソースも必要になるだろうということは、想像に難くありません。幼児期に躰けをしてもらうことが、**一番コストパフォーマンスが高い**(労力に対する見返りが大きい)と言えます。そのことを上では**86万円**という身も蓋もない数字で表しています。

Point! ・家庭でも、上の3つの所作を意識してみましょう。すぐにできるようになるわけではありませんが、日々の積み重ねが大切です。

●自分のことで自分の出来ることは自分でやる

- ・幼稚園の教育的意義は、自立した人間を目指し教育することにあります。**自立**とは、簡単に言えば、**自分でできることを自分でやる**ということです。

- ・自分の出来ることを自分でやるから、自分のやった結果に責任が持てるのです。やってもらえばかりでは**他責の人**となってしまいます。やってもらったのに、相手が悪いと考えるような人にならないためにも、自分の出来ることは自分でし、その結果は自分で負うということを、幼いころから手助けしつつも少しずつ経験していきましょう。

- ・当学園では、自分でできることは**1歳児クラス、2歳クラス**であろうと極力自分でさせます。転んでも自分で起き上がる子(直接的にも、比喩的にも!)になってほしいと思っています。

- ・ぜひ、家庭でも自分で出来ることを自分でさせてください。自分で出来ることを親がやってあげるのは優しさではありません。それは「あなたは成長しないでいいよ」というメッセージとして子供に伝わります。まずは**自分の荷物を自分で持つことから**させましょう。

Point! 食器の配膳、寝具の準備、着替えを用意する、幼児でもできることはたくさんあります。子供にも家庭の一員としての役割を作っていきます。また、登園・降園のときに子供の荷物を持ってあげるのではなく、自分の荷物を自分で持つようにしましょう。

●考える

・当学園では、よく「自分で考えてごらん」「どうしたらよいと思う?」という問いかけをします。幼児の発達段階から見ると、経験の少ない園児には「考える」ということは難しいことです。ですが、少ないながらも今自分の持っている材料で「考える」という思考プロセスを経験してほしいのです。大人が答えを与えるのは簡単だし、時間も手間もかかりません。でも、答えをもらう、指示を待つというのではなく、間違ってもいいから自分で答えを出すという姿勢が大切であると考えます。だから、答えを与えるのではなく、「考えてみよう」「どう思う?」「何でだろう?」「どうしたらいいと思う?」という問いかけをします。

・相手の気持ちを考えなさいと教えます。相手の表情を見なさいと教えます。お釈迦様は、「己が身に引き当てて考えよ」と言葉を残されました。それと同じく、「君が友だちの立場だったらどう思うか考えてみよう」「君の隣でお母さんがそれをされたら、お母さんはどう思う?」と促します。嬉しいこと、嫌なこと、楽しいこと、悲しいこと…。つまり、相手の立場になって考えるということは、感謝、慚愧、思い遣りの気持ちの基になる、とても大切なことです。

Point! 「どうして?」「なんで?」と聞かれた時も、すぐに答えを与えるのではなく、「どうしてだろうね?」「なんでかな?」と一緒に考える習慣を作ってみましょう。

子供だけで無く、親として親も育つ! (保護者の皆さんにお願いしたいこと)

・園児の行動は、私たち保育者でも予測が難しいことがあります。特に低年齢児では例え保育者の目があつたとしても、噛みつき、ひっかき、突き飛ばしは起これます。それらを出来るだけ予防しようと試みますが、正直言えば予防できないことも多々あります。当園だけの問題ということではなく、現在の日本の保育制度の仕組みでは常にお子さんから目を離さない、というわけには行かず、ゾーニングや見守り体制を整えてもゼロリスクに出来ないのが事実です。

・お子さん1人に保育者1人がついていくわけではなく、子供同士も大いに関わり合うことで成長していくため、それらを全て予防することはできません。子供が集団で過ごす以上、この点はご理解の上でご入園を検討していただきたいと思います。

・また、私どもでは、たくさん身体を動かします。多くの運動・体操をします。教育的意図を持って、(ルールと配慮を十分した上で)レスリングのようなあえて子供同士がぶつかるような場面を設定することがあります。ですので、大小様々ですが怪我はあります。もちろん怪我に対してのフォローはきちんといたします。

・怪我はある意味リスクと捉えられすが、リスクがあるからこそベネフィット(効果・利点・恩恵)が得られるのも事実です。リスクがない活動が子供にとって面白いでしょうか。その活動に効果があるでしょうか。

・もし、園内の怪我を絶対に許容できない、可愛い我が子に小さな怪我ひとつもさせたくない、とのお気持ちがもしおありでしたら、当学園への入園は再考された方が三者(子供・保護者・保育者)のために良いと思います。(誤解の無きように申し添えますが、怪我などに対しフォローをしないと云っているわけではありません。) 気になることがありましたら、ご家庭の方針に合うか個別にご相談ください。

・仮に事故やケガがあつた場合は、応急手当→保護者連絡→事故記録→再発防止策を実施しています。

・幼児期の小さな怪我は、この先大きな怪我をしないための先行投資とも考えられます。小さな怪我の経験をすることで、次にど



うしたら怪我を避けられるか、あるいは怪我をしないようにするためにはどうしたらいいか。どこに行っていいいのか、悪いのか。どこまでやっていいのか、できるのか。大きな怪我にならないための**危機予測・危機管理、対処を、子供が自ら経験で学ぶための大切なプロセス**です。

・これは大人が口で言って教えられることではないのです。だから、閉じられた小さな世界で、小さな怪我もしたことがない子は、大きな世界(たとえば、近い将来であれば小学校)へ出たときに、大きな怪我をしてしまうかもしれません。

・同様の理由で、大人から見れば失敗と思うような経験(たとえば、ケンカや叩いた叩かれた・取った取られた、噛んだ引っ掻いた、押したなどの事象)から、子供は学びます。

・園ではそういった事象は、**間違いなくあります**。(一般的にはトラブルなどと言いますが、成長機会とも捉えられます。)なぜそれらがあるかと言えば、必要だからと考えることも出来ます。それらを(大人が排除するのではなく)乗り越える課程で子供は学び成長します。時には引っつかかれたり、噛みつかれたりすることもあります。先生がとんで見ていたとしても、噛みつかれたりすることとも正直言っています。

・噛みつきや引っ掻きは、**乳幼児期の成長発達のひとつの特徴**です。子供全員が噛みつきや引っ掻きをするわけではありませんが、**それらが終わらないことも絶対にありません**。子供には意図的に誰かを傷つけようという気持ちも全くありません。むしろ反対に、「○○ちゃん、すき!」「一緒にあそぼう!」「それ楽しそう!」といった、他者に対する興味がそういった行動として出ることもあります。だからこそ、親御さんには**加害・被害という枠組みで必要以上に過敏にならないで頂きたい**と切に願います。

。子供のこうした行動の背景には、言語未発達・欲求調整の未熟さ等があります。ですから、もしそういった事象が起きたときは、当事者双方のケアと再発予防(観察・環境調整・関わり方の練習)を行って参ります。

(極端な言い方かもしれませんが、怪我と同様、噛みつき引っ掻きしたり/されたりがどうしても受け入れられないのであれば、集団生活は避けた方が無難です。)

・**コミュニケーション能力**が大切と言われるようになりました。では、コミュニケーション能力を身につけたかったらどうしますか? もし、ピアノが上手になりたかったら、もちろん、ピアノを練習します。バスケが上手になりたければバスケを、野球が上達したければ野球を練習をします。人間関係も同様。**人間関係から人間関係を学ぶ**のです。下手であろうとたくさんコミュニケーションするしかないのです。

・幼児ははじめからコミュニケーション能力を備えているのでしょうか? もちろんそんなことはありません。だから、**沢山の失敗があり、それから学べるように同年代の関わりを求めていく**のです。学びの場を奪わないためにも、大人が必要以上に子供同士の事象に介入したり、周りの人たちに対し神経質になったりしないで欲しいと思っています。幼稚園を、子供同士あるいは親同士、**互いの育ちの場**として捉えることのできる方のお子さんは、伸びていくことでしょう。



・当園には看護師が常駐していますが、**医療機関ではありません**。特定の病気や肌の弱い場合、アトピーなどの場合も、園では集団生活となるため、基本的にお子さん一人ひとりを園でケアすることはできません。もし、お子さんが痒がったり痛がったりしても**法律により医療行為は出来ない**ため、対応に限りがあります。親御さんの立場ではその対応に不満だったり、嫌だと思いいになっても、私たちとしては「主治医にご相談ください」「病院へ行ってください」とお伝えし続けることになります。健康上の不安をお持ちの場合は主治医に相談の上、園にも予めご相談ください。主治医の指示書と保護者同意のある範囲で、園内手順に沿って可能な配慮を検討します。どこまでが対応可能で、どこから出来ないのか、医療機関の知見をもとに、双方の確認をしています。

・園生活が始まると、集団だからこそ見える姿が園にはたくさんあります。ですから、受け入れをした時から、**0歳でも3歳であつても、ポジティブなこともネガティブなこともお子さんの様子をありのまま伝える**ようにしていきます。「こんなことができたんですよ。」

と、親御さんにとってうれしいと思えることもあるでしょう。また、「うちの子に限って・・・」と正直聞きたくない、受け入れたくないと思えることもお伝えしていきます。でも、それがお子さんのその時の姿です。子供はどんどん育ち、変わっていきますから、今だけの時間軸で捉えるのではなく、先を見てお子さんの可能性を広げることができるよう私たちもお手伝いします。

年間行事予定

年間行事の一例をあげてみました。季節の行事や仏教行事をとりいれ、いろいろな経験ができるよう計画していきます。

4月 お花見・入園式・父母の会総会	10月 運動会・菜種蒔き・さつまいもほり・年長体操レスリング交流会
5月 こどもの花まつり・家庭訪問・白詰草摘み・親子遠足・いちご狩り・お茶会	11月 秋の遠足・みかんがり・小学校探検・焼きいもパーティ
6月 ホテル観覧・保育参観・父の日の集い・お茶会・じゃがいも掘り・洗心寿司	12月 成道会・お遊戯会・報恩講・おもちつき・一日入園
7月 セタまつり・プール遊び・じゃがいもほり・夕涼み会・スイカ割り	1月 白鳥観覧会・お茶会・座禅体験・消防署見学
8月 お泊まり保育・夏期保育(流しそうめん・カレー作り・かき氷屋さん)	2月 節分豆まき・ねはん会・一日入園
9月 保育参観・お茶会・秋刀魚パーティー	3月 ひな祭りお楽しみ会・お別れ遠足・卒園式・1/3成人式

- ・できるだけ色々な経験をして欲しいと思っています。保護者の皆様にも協力を仰ぐこともあります。
- ・行事は、状況により変更になることもあります。



入園申込と諸費用について

●入園について

入園基準	●本園の理念、教育方針に賛同いただける方を入園の基準としております。 ●宗教的理由により、礼拝や仏教行事などに参加できない場合の入園はご遠慮ください。ただし、入園にあたって仏教以外の信仰を排除するものではありません。 ●検診などで発達上や病気の指摘を受けたなど、それぞれの発達を踏まえ、お子様一人に対し専任の教諭を配置しなければ教育的意図が達成できないと思われる場合は、入園を検討させて頂く場合もございます。ご不安がありましたら事前にご相談ください。
保育認定について	・1号認定(幼児教育部)・・・今までの幼稚園を希望する場合の利用認定。満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし＝全ての方が対象) ・2号認定(幼児教育部)・・・両親が共働きなど、従来の保育園にあたる幼稚園の年の子。3歳以上の保育の必要性の認定を受けた子。 ※保育を必要とするとは、例えば両親ともに就労していて、お母さんが月に64時間以上の労働がある場合。そのなかでも、月に120時間以上の就労証明がある場合は、保育標準時間＝11時間の範囲で利用できるようになります。それ以外は保育短時間＝8時間の範囲で利用ができます。) ・新2号認定(幼児教育部)・・・2号認定を希望していたが、利用調整の結果2号認定での利用が出来ず1号認定で入園した場合や、1号認定で入園した後に仕事を始めた場合などは、新2号認定を受けることが出来ます。新2号認定は、長期休暇期間を除き、2号短時間認定と同様の利用が出来ます。新2号認定も定員がありますので、認定変更を希望してもお待ちいただく場合があります。 ・3号認定(乳児保育部)・・・上記2号認定の乳児版(0歳～2歳) ・新3号認定(乳児保育部)・・・3号認定で、住民税非課税世帯などの一定の所得条件の家庭は新3号認定となり、保育料の無償化対象となります。 ・企業主導型・・・せんしん未来サテライト(企業主導型保育)の在籍です。保育認定が必要です。おおよそ2号・3号認定と同

	様になります。入園決定は1号認定と同じく園が行います。入園申し込みは空きがある場合はいつでも可能です。9月1日からの募集期間も関係ありません。
開園・弊園 時間	●開園日・時間：平日 7:00～19:00 ※0歳児は7:30～19:00 ※子育て支援クラスは8:30～14:50 ※企業型は7:30～18:30 ●閉園日1号認定：土曜/日曜/祝祭日・夏期休暇・冬期休暇・春期休暇 ●閉園日2号3号認定：土曜/日曜/祝祭日・8月13日～16日・年末年始 ●閉園日企業主導型：2号3号と同じ ※運動会等、行事等によって土曜日・日曜日に行うこともあります。

募集人数		1号認定	2号認定	3号認定	企業主導型
	【別紙参照】				
入園申込み 受付期間	●9月1日より、受付開始 ※認定にかかわらず園に提出	午前8:00より 定員になり次第終了	入園申込書類お預かり (9月1日～10月15日まで) (場合によって2次募集あり)	通年 定員になり次第終了	
諸費用納入の時期 (4月入園)	●入園申込事務手数料(現金納入) ●入園料(口座振替) ●新入園用品等(口座振替) ●制服・体操服等用品費用(口座振替) ※予定は変更となる場合があります	申込時 2月25日 2月25日 第1回一日入園時(1月)	入園申込書提出時(1月) 2月25日 2月25日 第1回一日入園時(1月)	※1号認定と同じ	
入園までの流れ (予定)	●入園申し込み ●運動会新入園児競技参加(10月) ●新入園児おゆうぎ会参加(12月) ●2・3号認定入園決定(12月下旬) …利用可否を佐野市が決定します。 ●第1回一日入園(1月下旬) …面談、制服等採寸と申し込み ●第2回一日入園(2月下旬) …入園オリエンテーション・制服お渡し ●入園式(4月中旬)	9月1日～ 分割開催のため未実施 参加 × × 参加 参加	9月1日～10月15日 × × 入園申込書提出・事務手数料納付 参加 参加	※1号認定と同じ	

附記	●バス利用希望の方は、入園申し込み前に、運行場所をご確認ください。(バス利用は満3歳クラス以上) ●満3歳児クラス(1号認定)の入園受付は、4月入園のお子さんから受付開始いたします。満3歳児・2歳児入園は、いくつか入園のパターンがありますので、個別にご相談ください。 ●子育て支援クラス(1号認定になる前の満3歳児クラス)は、預かり保育・延長保育の設定はありません。(冠婚葬祭などで急を要する場合は利用できます。) 預かり保育を恒常的に利用することができるのは、年少クラス(新2号認定)になってからになります。同時在園園児が上にいる場合などとはご相談ください。 ●途中入園を希望する場合は、入園希望月の2箇月前より受け付けいたします。(9月1日の入園を希望する場合は、7月1日からとなります。) ●本園では、保育料・施設費等ほとんどの諸費を、佐野信用金庫の各家庭の口座より、口座振替にてお支払いいただいております。佐野信用金庫に口座の無い方は、佐野信用金庫堀米支店(または、お近くの佐野信用金庫の店舗)にて口座の作成を願います。(他金融機関からの口座振替はいたしかねます。) ●仮に、口座振替不能があった場合、学校法人口座に振込をお願いすることとなります。その場合、堀米支店の口座から振り込みする場合は、手数料無料です。(堀米支店以外の本支店の場合、金額によっては振込手数料がかかります) 今まで佐野信
----	---

用金庫にお取引がない方は、堀米支店での作成をおすすめしています。

●2020年1月には、園が入園決定できる保育園「せんしん未来サテライト」(内閣府主管の企業主導型保育園)がオープンいたしました。以下の場合に入園が可能です。

1.当学園と保護者どちらかの勤め先法人とで利用契約が締結でき、勤め先法人が子ども子育て拠出金を支払いしている場合

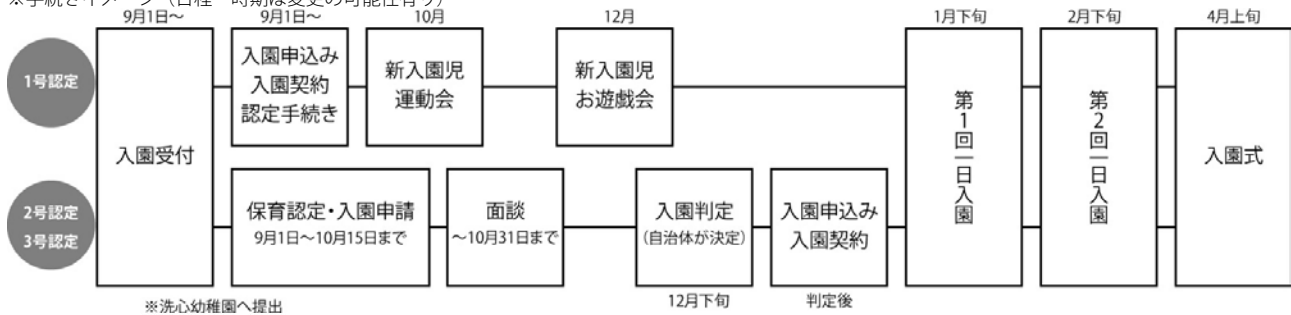
2.上記1以外の場合で「地域枠」定員が空いていて、日中に保育を必要とする事由がある場合

ご関心のある方はお問い合わせください。

●せんしん未来サテライトは、原則として2歳クラスまでの利用となります。その後は、洗心幼稚園 認定こども園の3歳児 新2号認定へ進級となります。進級時に2号認定の併願も可能です。

●入園申し込み後の園からの連絡は、年が明けて第1回一日入園のご案内となります。園内の連絡システム(コドモン)でお知らせしますので、かならずご登録をお願いします。

※手続きイメージ(日程・時期は変更の可能性有り)



●必要書類

	書類名称	1号認定	2号認定・3号認定	企業主導型
入園申込時に 必要な書類等	●入園申込書(園仕様)	○入園申込時	×(判定後、入園決定してから)	○入園申込時
	●施設型給付費支給認定申請書	×(後日)	○入園申込時	×
	●就労証明	×(不要)	○入園申込時(就労している同居世帯全員)	○入園申込時
	●家庭状況調査書	×(不要)	○入園申込時	○入園申込時
	●入園申込事務手数料	○入園申込時	×(判定後、入園決定してから)	○入園申込時
	●共同利用契約書	×(不要)	×(不要)	○入園申込時
	●保育認定決定通知書	×	×	○入園申込時※
入園申込 手続き後に 必要な書類等	●入園申込書(園仕様)	×(提出済)	○入園決定時(例年1月上旬)	×(提出済)
	●施設型給付費支給認定申請書	○1日入園時(1月下旬)	×(提出済)	×(提出済)
	●母子手帳(健康診断等の確認)	○1日入園時(1月下旬)	○面談時(9月～10月)	○1日入園時
	●入園申込事務手数料	×(提出済)	○入園決定時(例年1月上旬)	×(提出済)
	●預金口座振替申込書	○1日入園時(1月下旬)	○1日入園時(1月下旬)	○1日入園時
※その他、各種必要書類をご提出いただきます。入園が決まりました方には別途ご案内いたします。				

・1号認定と、2号認定を併願する場合は、両方の書類が必要となります。

・新2号認定は、1号認定の決定後にと併願の場合、利用調整後に変更が可能となります。

※企業型の保育認定決定通知書は、入園前に施設給付費支給認定申請書により取得する必要があります。

●令和7年度 保育料等の費用について・諸費用一覧（以下は令和6年度実績）

以下特に断りの無い限り、単位は円・括弧内は支払時期

	洗心幼稚園 認定こども園			せんしん未来サテライト
	1号認定	2号認定	3号認定	企業主導型
入園申込事務手数料	10,000(入園申込書提出時)	10,000(入園決定時)		1号と同じ
教育拡充費(入園料)	●60,000(第1回一日入園時)			0
施設環境整備費	●3,000(月額)			3,000(月額)
教育付加金	3,000(月額・年少以上) ※満3歳なし			
冷暖房費	●5,000(年額・7月納入) 9月以降入園は3,000(年額・12月納入)			保育料に含む
保育料	無償化対象(月額)(絵本代・教材費・消耗品等含)		自治体の定める額(月額)	0歳37,100
	子育て支援クラス 満3歳児 27,000(※1)		(給食費、絵本代・教材費・消耗品等含)	1歳・2歳37,000 年少以上0(無償化対象)
給食費	7,980(月額。8月無)	9,810(月額)	0	0歳～2歳0 年少以上2号認定と同じ
バス維持費	3,600(利用者のみ月額/同時在園は世帯で1人分)		利用なし	1号・2号認定と同じ
入園時の 制服・体操着等費用	41,000前後		0～2,200 (学年により異なります)	0～41,000前後 (学年により異なります)
新学期用品	約12,000～14,000(学年により異なります)		2,500～5,500(学年により 異なります)	2,500～14,000(学年により 異なります)
その他	●保険料・父母の会費等は実費にてご負担ください。			

●預かり保育の無償化以外の部分をご負担ください。

※1・・・満3歳の誕生日まで、子育て支援クラスの保育料です。満3歳の誕生日以後、保育料の無償化対象となります。誕生月は日割り計算となります。

●保育料について(保育料・教育拡充費・施設拡充費)

・幼児教育・保育の無償化により、**1号認定園児の教育標準時間・2号認定と新3号認定のうち保育を必要とする時間・新2号認定の教育標準時間と預かり保育時間の一部(延長保育は対象外)が無償化の対象となります。**保育料のみ対象です。

・保育料無償化や預かり保育料金については、右記QRコードよりご参照ください。



・**3号認定保育料**は、住民票のある自治体が決定します。市民税の納税額によって同じ学年でも変わってきます。

・【3号認定】参考資料として、佐野市の保育料一覧を右記QRコードよりご参照ください。佐野市の該当するページに掲載されています。他市在住の方は各自治体へお問い合わせください。

・【企業型籍】企業主導型保育に在籍の場合は、税金の納付額などに関係なく一定(上記提示額)です。また、**勤務先の企業の福利厚生として保育料の負担ができる場合があります。**詳しくは勤務先の経理担当者へお問い合わせください。



・年少以上(1号、2号、新2号、新3号認定、企業型)は、**無償化対象となり保育料負担なしです。保育料は0円です。**預かり保育や延長保育は実費ご負担ください。

・まだ満3歳の誕生日を迎えていないが、満3歳児クラスを予定して入園する場合は、**子育て支援クラス**としての入園となります。満3歳の誕生日以降、1号認定となります。(誕生月保育料は、誕生日までを日割り計算いたします。)子育て支援クラス保育料は一定です。誕生日以降無償化対象となります。

・満3歳クラスは教育標準時間のみ保育料無償化の対象となります。預かり保育は対象外です。

・**満3歳クラスと子育て支援クラスは、預かり保育の月極利用などの定期利用を予定していません。**(冠婚葬祭など、やむを得ない単発利用はできます。定期利用は、職員数に余裕が出来た場合は実施することもあります。)

・施設環境整備費は園内環境の充実のために皆様にご負担いただきます。教育付加金は年少以上にご負担いただきます。

●実費分について(給食費・バス維持費・冷暖房費・制服・用品など)

・給食は自園調理の完全給食です。給食費は、1号・2号認定は表を参照ください。3号認定と企業型籍0歳～2歳は負担ありません。

・1号認定と2号認定では補助額も異なるほか、食数が違うので月額も違います。1食単価はほぼ同じになるよう設定しています。

・学期に1回～2回程度、園外保育などで手作りお弁当をお願いすることがあります。

・1号認定は、8月の給食費徴収はありません。また、1号認定で、長期休業中の預かり保育を利用する場合も、事前申込制で給食が利用できます。

・制服について、年少以上1号・2号認定のお子さんは制服着用です。制服着用は、年少クラスからとします。

・満3歳児クラス・2歳児クラスは、体操ズボンとポロシャツでの登園です。2歳児でも希望する場合は、制服でも可です。

・用品は学年に応じた必要なものをご購入ください。

●洗心幼稚園独自の補助金

・多子家庭支援のため、同時在園の場合は以下を補助いたします。

バス維持費	同時に何人利用しても、世帯につき一人分に減免します。何人乗っても一人分。
-------	--------------------------------------

英語クラス（EESNクラス）について

●年長・年中での希望者は、毎日の英語クラスを実施しています。

・2020年より小学校でも英語が「教科」として実施されるようになりました。いままでは「外国語活動」として評価しなかったものが、教科となることで評価がつくようになります。そして、評価がつくということは、(この近辺ではあまり一般的ではありませんが)中学受験にも出題される可能性もあるということです。

・洗心幼稚園 認定こども園の英語クラスでは、英語で楽しく表現したり、コミュニケーションをしたりするためのツールとして英語を使うための「マインドの醸成」を英語クラスの主な目的としておこないます。「わかる!」「出来る!」、英語って楽しいと思えることが、次へのステップにつながっていきます。

・語学も継続がたいせつ。とくに外国語は、**母語で理論がわかるようになる年齢まで続けることが定着につながります**。そのため、卒園後も継続して続けられる環境を構築しています。(園内で小学校2年生まで。その後はNoah外語学院さんEESNクラスを継続できます。)

・これからは、英語も求められる時代となることは間違いないでしょう。しかし、単に英語を話せることが必要なのではなく、自分をどう表現するか、その中身も大切となります。学んだことを表現するひとつのツールとしての英語を使ってみましょう。

・英語を使って、世界中に友達を作る間口を広げてほしいと願っています。

・右のQRコードは英語クラス実施要綱です。参考資料としてご確認ください。



EESNクラス実施要綱

スクールランチ（お昼ごはん）について

●お昼ごはんは自園キッチンでつくる料理を提供しています。

・管理栄養士、調理師のもとで園内調理した食事を提供しています。パンや麺ではない**米食・和食を中心とした充実した食事内容**となっております。

・メニューは、子供の好きなメニューばかりに偏らず、噛み応えのあるものや伝統的な和のメニュー、地方色ゆたかな郷土食など、多様な食経験ができるような内容を考えています。

・楽しくあたたかなランチタイムを持てるように、明るく開放的なランチルームとなっております。

・年長と年中は、乳児保育棟のランチルームにて。それ以外のクラスは、各自の教室にて食事します。

・食器は、年齢に関係なく磁器を使用しています。言い換えれば割れる食器です。でも、落としたら割れてしまう磁器食器をあえて使うことで、プラ食器にはない本物の質感・感触を味わい、ものを丁寧に大切に扱う心を養います。また、食事の時間を、豊かで意義あるものにします。

・夏休み中の預かり保育利用者にも、希望者にはランチ対応いたします。家庭からの持参のお弁当でも大丈夫です。



- ・小学生教室利用者も、希望者にはランチ提供の予定です。
- ・おやつは、自園調理のものを基本として、市販の物なども併用して提供しています。
- ・**3号認定の乳幼児は、園で初めて食べるものが無いように、献立を参照して家庭で食経験を先行させてください。**
- ・毎日の献立や内容は右記のQRコードより確認できます。(instagram)



ランチinstagram

●アレルギー対応食を提供しております。

- ・キッチン内にアレルギー専用食の区画を設けました。アレルギー対応区画にて調理しアレルゲン混入のないように努めています。(アレルギー食提供は対応できる人数に限られます。入園後に対応が必要となった場合は対応が出来ない場合がありますことご承知置きください。)
- ・アレルギー対応の範囲はご相談ください。基本的には、軽度から中度程度まで、**おもに乳と卵**の対応となります。(小麦は対応外となりお弁当の持参でお願いしています。ナッツや蕎麦などは要確認。)
- ・コンタミネーション対応が必要な場合は対応外となる場合があります、お弁当持参での対応となります。
- ・食事提供時も、調理者と担当教員で指し確認をし、アレルギー食提供管理札とともに取り違えのないよう提供していきます。
- ・医師の診断書のもとに、担任・管理栄養士と相談をし、食べられない食材や調味料などを確認し、アレルギーの子専用の対応メニューを作っていきます。
- ・宗教、思想、主義、嗜好による変更は対応いたしかねます。ランチ利用できない場合は持参での対応も可能です。
- ・アレルギー対応食は、食べられる食材にも依りますが、できるだけ他の子と同じような内容、見た目で作るようにしています。
- ・アレルギー食に対応できる定員がありますので事前にご確認をお願いします。対応人数を超えた場合はお断りすることもございます。
- ・アレルギー食対応を希望される場合は、いずれにしても対応可能かご相談ください。アナフィラキシーショック経験が有る場合などの重度の場合は、医療機関や当園の看護師との連携も必要になります。入園申込前にご相談ください。

●いろいろな食経験をさせていきます。

- ・「うちの子は～を食べさせないようにしているので・・・」と、医療範囲を超えた対応を求められる場合がありますが、医学的合理性がある場合を除き対応いたしかねます。(たとえば、牛乳を取らせないで欲しい等) 園では、医療的な立場(西洋医学)で食べられない場合を除いて特定の食品の添加や除去の対応はいたしません。集団生活の中で、みんなが同じように色々なものを食べられるように献立を組み立てています。
- ・郷土食や海外の献立などを加えることもあります。子供の苦手とする食材を入れることもあります。子どもの興味関心を広げていくためにも、子どもの好きなメニュー、食べやすいメニューだけを提供するという立場を取りません。



入園についてのQ&A

皆様より、よく質問されることをまとめてみました。

Q1●9月1日に並ばないと入れないって本当ですか？

A1●YESでもあり、**NO**でもありました。今までは、入園受付日に並んでいただいた年もありましたし、そうでない年もありました。ですので、確実なことは言えない状況で、入園を希望される皆様に不安を抱かせ申し訳なく思います。

1号認定に関しては、**オンラインでの申込み**として、並ばずに申込みが出来るようにします。

しかしながら、佐野市の計画や、先生の配置などの制約がありますので、希望する方全員を受け入れできないこともあり、定

員を超えましたら以後はキャンセル待ちとなります。

2号・3号認定につきましては、佐野市の利用調整が必要です。申込み＝入園となりません。申込み後、洗心幼稚園 認定こども園にて書類のチェックと面接をし、その結果を基に佐野市が利用調整し入園判定をします。入園可能の判定となつてから入園手続き(契約)となります。よって、2号・3号認定については申込期間中(9月1日～10月15日)に必要な書類をそろえて提出できれば結構です。**先着順ではありません。**

利用調整の結果、入園不可となることもあります。その場合、1号認定としてであれば入園可能な場合がありますので、お問い合わせください。なお、1号認定と2号認定の併願申込みも受け付けています。2号認定での入園が決定した場合、1号はキャンセルとなります。(これによる費用はかかりません。) 併願の1号認定部分は、先着順となります。

Q2●在園児の弟妹が優先するのですか？

A2●1号認定については、年少入園において在園児の弟妹を優先いたします。また、今までに洗心幼稚園に、ご縁をいただいた方を優先いたしております。優先入園に該当する方は、こちらで把握している場合は先にご案内をいたしております。優先入園をご案内可能な方は以下の通りです。(1号認定の年少入園のみ)

- 1.現在、在園児を上につくお子さん
- 2.卒園児を上につくお子さん
- 3.当園を卒園された保護者のお子さん
- 4.プレりす組に参加されているお子さん



Q3●寄付金を納めないといれなくて聞いたのですが本当ですか？

A3●いいえ、そのようなことはありません。私どもも、この質問をいただいたときは驚きました。全くそのようなことはありません。提示いたしました額をお納めください。

ですが、子供のためのご寄付は歓迎しています。**学校法人への寄附は、寄付金控除**を受けられます。また、金銭に限らず、ボランティア的人的資源や、もう使わなくなった**絵本**やぬいぐるみやおもちゃなども歓迎しております。特に絵本は歓迎です。

Q4●もうすぐ3歳になりますが、おむつが取れていません。入園できますか？

A4●おむつがとれていなくても入園できます。今はおむつが高性能になって、なかなかとれない子がたくさん居ます。でも、園だけでは取るのは不可能です。園と家庭と一緒にトイレトレーニングしていきましょう。

かつて、オムツがとれていなくても大丈夫と言っていたら、新入園年少児(3歳)の4月時点で、2/3がオムツだったことがありました。こうなると、園では教育活動どころではなく、オムツの対応に追われることになります。オムツの対応の間は、それ以外の子に手を掛けられません。ですので、園での教育活動を成立させるためにも、保護者のオムツ取る意識が不可欠です。

オムツは園任せでは取れないと思ってください。少なくとも、年少で入園される方には、**入園までにトイレトレーニングをご家庭でも始めてください**。入園申し込みが始まる9月頃はまだまだ暑く、おむつをとる練習をするには最適な時期です。焦る必要はありませんが、**2歳の後半には排泄の機能は完成している時期ですので、3歳の誕生日にはおむつを取るつもりでトイレトレーニングを始めてください**。

保護者の皆様の「おむつとるぞ!」「幼稚園にはいってもおむつはおかしいナ」という意識が必要です。トイレトレーニングの事などでご相談などある時はいつでもどうぞ。経験豊かな教諭が、経験談を交えての助言をいたします。

また、幼稚園にはトイレトレーニングのロールモデル(お手本)がたくさんあります。一番分かりやすいのは男の子です。他の子の小便器で用足しする姿を見て「ああやるんだ!」とすぐに覚えます。そのほか、トイレタイムをつくって、便意の感覚を覚える

よう促していきます。

トイレトレーニングで大事なことは、大人の都合で着脱するしないを変更しないこと。園ではパンツでも家庭ではおむつ、というのは子供も混乱します。

トイレトレーニングは、ベネッセ教育総合研究所の記事が参考になります。参考にしてください。



トイレトレーニング特集

Q5●3歳児ですが、協調性がありません。集団生活が心配です。

A5●ご心配もつともだと思います。ぽつんとひとり遊びをしていると心配になるのも分かります。ですが、3歳児であれば協調性がないのは発達の段階からみて当然です。むしろ、協調性のある3歳児のほうが少数ではないでしょうか。

例えば、こんな場面……。3歳児が砂場であそんでいる姿を想像してみてください。「一緒にあそぼうよ!」とか、「シャベルかしてあげるよ」「一緒にお山作ろうよ」なんて言っている姿は、ちょっと想像するのが難しいでしょ(笑) たとえ一緒に居て遊んでいるように見えても、一緒に遊んでいないのが3歳のあり様なのです。

協調性をこれから身につけるべき時期だからこそ、幼稚園という場でたくさんの人・環境と関わって、協調性を身につけてほしいと思います。逆に考えるなら、協調性や対人関係のスキルを身につけるために、集団生活を基本とする幼稚園に行くのです。そこで、譲り譲られ、また時にはぶつかり、他者と協調することや譲り合うこと、その必要性、共に歩むことを学ぶのです。

皆さんは、勉強にしてもスポーツにしても物事を上手になる方法をご存知だと思います。運動であればたくさん運動する。語学であればたくさん聴き、読み書きする、といったことです。では、人間関係は?コミュニケーション能力は?どうやったら上達するの?

これらはたくさんの人と関わり、関わり方の練習をするしかないのです。親や先生が手を出さず、トラブルや失敗を経験することで上達するのです。そして、自分たちの問題は自分たちで解決できるようになるのが一番です。



現在は、子供たちがたくさんの同年齢・異年齢の子供と関わる環境は少なくなってきました。だからこそ低年齢から、たくさんの人を含む様々な環境と関わる場を、幼稚園という集団の生活の中で体験させてあげる必要があるのです。(洗心幼稚園には上は小学6年生、下は0歳から居るので、小学生や下の子との関わりもできます)

Q6●洗心幼稚園の教育内容にうちの子がついて行けるか心配なのですが・・・

A6●幼稚園の年長児の様子などを見ていると心配するのはもつともです。でも、遅い早いにはありますが、みんなできるようになります。出来ない子が居るのでは無く、「すぐ出来る子」と「これから出来る子」(出来るまでに時間がかかる子)がいるだけです。

洗心幼稚園の子供は決して特別に能力のある子たちを集めたわけではありません。(一人ひとりとは特別でかけがえのない大切な存在ですが、能力について言えば皆持っているものは同じです。)子供たちは目標に向かって毎日少しずつ努力し、クリアしていくことで、大人が驚くほどの能力が全員に身につくのです。それがすぐ出来る早い子、じっくり時間のかかる遅い子がありますが、全員身につくのです。また、園では全体で指導しますが、その中身は、その子にあわせた子別(個別)指導なのです。

なお、誤解していただきたいことは、運動ができるようになることや、字が書けるようになることが洗心幼稚園の目的ではありません。できることはすごいことですが、尊い訳ではありません。できるようになるまで努力する、あきらめず継続することが尊いのです。その価値観を、保護者の皆さんも子供に伝えていってください。

できるようになることは、教育目標を達成するための手段・ツールに過ぎないのです。その結果として運動や字ができるようになるのです。あくまで目的は、教育目標および理念の実現です。

Q7●【認定について】1号認定から2号認定に変更できるのでしょうか。また、その逆は?

A7●認定の変更は、要件を満たせば認定してもらえます。認定を受けて、園の認定毎の定員が空いていれ



ば認定変更となります。ただ、現状では2号→1号は可能でも、1号→2号はほぼ不可能です。1号→新2号認定は、可能なことが多いです。ただし、新2号の希望者が増えており、新2号の定員設定もあります。

Q8●2号認定で、下の子の入園は優先されるのですか。

A8●2号認定は優先はされません。現在の保育所制度と同じで、若干ですが優遇(保育の必要度に加点)されるようです。2号3号認定の優先順位の計算方法(保育の必要性認定調書)は佐野市保育課のサイトに掲載されています。右記を参照してください。



保育の必要性認定調書

Q9●1号・2号認定で別々に保育をするのですか。

A9●同じ学年は同じ学年で教育活動を行います。子供の育ちを第一に考えますので、認定によってクラス編成したり、認定が変わったからといってクラスが変わるということはありません。ただし、2歳児クラスと満3歳クラスは分ける場合があります。また、年少以上のサテライトクラスは、本園にて一緒に活動をする時間があります。

Q10●制服は必要ですか。

A10●1号認定と2号認定年少クラス以上で着用します。ただし、それ以前から制服を着用することも可能です。2歳児・満3歳クラスは、体操ズボンとポロシャツをご用意いただきます。



Q11●行事は土曜日や日曜日に行うのですか。

Q11●保護者参加行事は、土曜日に行う行事、平日に行う行事があります。

土曜日開催の行事は、父の日の集い、夕涼み会、運動会などです。ただし、外部の会場を使う運動会や体操発表会などは会場利用に協議や抽選が必要となるため、土曜日がとれないことがあります。その場合は違う曜日で開催します。(平日や日曜日)。土曜開催の行事は、基本的に幼児(3歳以上)の参加です。乳児(0～2歳)さんは様子を見ながら参加することもあります。

平日の保護者参加行事は、入園式・卒園式・保育参観(5月・11月・1月)、父母の会総会、親子遠足、ピカピカの栃木県(公共施設清掃奉仕)、お遊戯会などです。親子遠足・ピカピカの栃木県は、乳児の参加は任意です。オンライン(zoom)を利用して実施することもあります。

Q12●昼寝は何歳まであるのでしょうか。

A12●乳児さんは昼寝の時間があります。年少児も、15時を跨ぐ利用の場合は、夏休み明けくらいまでお昼寝を行います。でも、発達の段階や季節・気候を見て、仮に2歳でも必要ない子は無理にさせません。逆に、3歳でも必要であれば昼寝をします。同様に4歳5歳も昼寝をしません。保育所などと違い、どの子も一律に昼寝をするということはありません。大切なことは、その子に合わせて必要かどうか。それぞれの子供の様子を見ながら判断します。

また、お昼寝用のベッドは園にて用意いたしております。通気性の良いメッシュ素材のお昼寝コットです。布団では無いので埃がたらず、もし汚れても簡単に洗えるため、ダニや埃が発生しにくいものとなっています。付随して、週初めと週末の、お昼寝布団の持ち運びもなく保護者負担減となっています。また、家庭のアレルゲン(ペットの毛など)の持ち込み可能性も低くなります。

Q13●2号認定・3号認定でもバスを利用できますか。

A13●認定に限らず、運行範囲内で満三歳以上であれば利用できます。ただし、利用時間は1号認定に合わせた運行ですので、希望の時間にお迎えに行くことを約束するものではありませんが、時間が合えば是非ご利用ください。



Q14●おむつ処理を依頼できますか。

A14●洗心幼稚園 認定こども園では、感染症や衛生面、保護者の利便性を考えて、園にて処分をしています。別途特別な費用はいただいております。

きりん組（預かり保育・延長保育）について

保護者の皆さまの就労支援、子育て支援、また、子供たちの安全とすこやかな発達を願い、各認定ごとの保育時間終了後の時間も、希望者を対象に預かり保育を実施いたしています。預かり保育では、幼稚園教育要領に基づく5領域に則った保育と、休息を中心におこなっています。

延長保育・預かり保育時間

●預かり保育（1号認定・新2号認定）

月曜～金曜日： 降園後14:00（半日の場合11:30）～16:30

長期休暇期間（夏休み・冬休み・春休み）：08:30～16:30

●延長保育（全認定）

月曜～金曜日： 早朝1延長保育 07:00～7:30（1単位） 早朝2延長保育 07:30～8:30（1単位）

延長保育① 16:30～17:30（1単位） 延長保育② 17:30～18:30（1単位） 延長保育③ 18:30～19:00（1単位）

※早朝1延長保育は、1歳児から利用できます。0歳児は不可。

※お盆期間中（8月13日～16日）、年末年始（12月28日～1月4日）はお休みです。

※土曜日、日曜日、祝祭日、卒園式、恵比須講大祭（11/19・1号/新2号認定）はお休みです。

※休園日のほか、以下の場合を実施いたしません。

- ・園行事などの場合（卒園式等・1号/新2号認定）
- ・感染症などで休園となる場合
- ・長期休暇期間中の、全職員を対象とした職員研修の場合（年1回程度・1号/新2号認定）



小学生教室（洗心塾・洗心エレメンタリークラブ）について

洗心幼稚園では、卒園後の小学生を対象に、放課後学童教室として「洗心塾」を実施しております。小学校の宿題の他に、子供たちを伸ばす指導法・教材を活用し、集中力、理解力、学習の習慣などの体得を目指します。

昨今、安全等の理由から子供同士で外で遊ぶということも難しくなってきました。結果、家庭内でテレビやゲームが多くなっています。家でテレビやゲームをして無為に過ごすくらいなら、園で宿題や自習、あるいは異年齢との関わりを持ったほうが、子供の成長に有意義であることは間違いありません。

洗心塾は一般の学童保育とは違い、先生が前に立って教えたり、家庭の代行として子供を遊ばせておく、時間までただ預かっておく、というわけではありません。洗心塾は、自分で考え学習する学問・自学自習のスタイルを身につけさせる場です。自分から学ぶという環境の提供です。子供は元々学びたいという欲求をもっています。色々なことを知りたいのです。だから、元々ある子供の力を引き出すというかたちで基礎学力を身に付けさせたいという親御さんの強い味方になっています。

●小学生教室の内容

本読み・漢字の書き取り・国語辞典を使つての意味調べ（立命館小メソッド）・足し算引き算から始まり数の基礎を充実・100マス計算・そろばん指導
他に、その子の興味に応じたことなど（子供が伸びる学習方法の追求） 1つのモジュール（単元）を15分から20分とし、毎日行う。

●時間

月～金曜日と特定土曜日。日祝日はお休み

学校下校時～19:00 長期休暇中 7:30～19:00

※上記の時間内で、保育の必要がある時間の利用が可能

●対象

小学1年生から6年生まで ※洗心幼稚園 認定こども園卒園児の優先入会あり。(毎年ほぼ卒園児で定員となります。)

※この入園説明資料に記載されている内容は令和7年8月現在のものです。今後変更となる場合もありますので、ご了承ください。

参考

●こどもを伸ばすには、まず生活習慣から！

・睡眠、食事、そしてメディア(テレビやゲーム、スマートフォンなど)との付き合い方で、お子さんのこれからの人生が変わります。

・お子さんを伸ばすことが出来るのも、基本的な生活習慣が土台になってこそ。

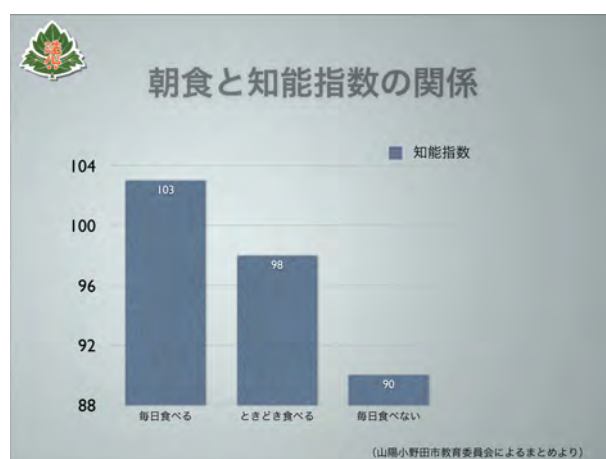
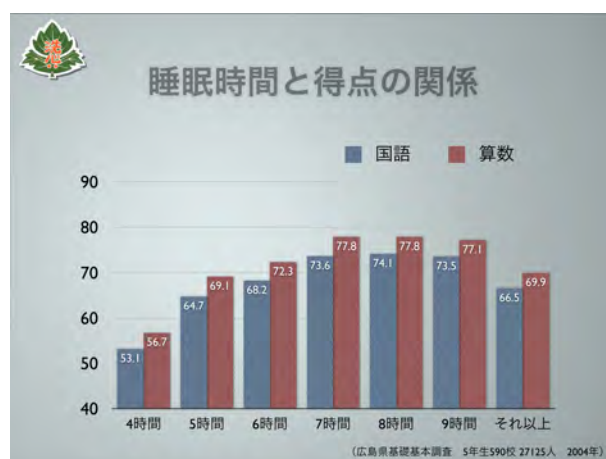
・テレビやスマホなどのメディア接触は、1日1時間程度におさえるよう意識しましょう。

・**夜8時には寝て、夜10時の成長ホルモンのピーク時間に、成長ホルモンシャワーをたっぷり浴びる。** 幼児期には、11時間から13時間の睡眠が必要と言われています。なぜなら、成長に必要な脳内物質が分泌されるのは主に睡眠中だから。

・きちんと寝て、朝食をしっかりと食べて居る子は、運動も意欲も成績も高い傾向にあります。

・良い生活習慣を身につけるのも、今この時期だからこそ！ 子供の頃の生活習慣が、大きくなってからも続くことは、統計が示しています。

・子供の学力と親の経済力に相関関係がありますが、それよりもなによりも、**子供の成長は、まず【良い習慣】です。**習慣が子供の学力を伸ばしていきます。そして、習慣を作るのは、親である皆様だけです。



資料

以下は、入園説明会で少しだけ利用します。

非認知能力(社会情動的スキル)ってなに？・・・以下は代表的なもの

学術的な呼称	一般的な呼称
自己認識 (Self-perceptions)	自分に対する自信がある、やり抜く力がある
意欲 (Motivation)	やる気がある、意欲的である
忍耐力 (Perseverance)	忍耐強い、粘り強い、根気がある、気概がある
自制心 (Self-control)	意志力が強い、精神力が強い、自制心がある
メタ認知ストラテジー (Metacognitive strategies)	理解度を把握する、自分の状況を把握する
社会的適性 (Social competencies)	リーダーシップがある、社会性がある
回復力と対処能力 (Resilience and coping)	すぐに立ち直る、うまく対応する
創造性 (creativity)	創造性に富む、工夫する
性格的な特性 (Big 5)	神経質、外交的、好奇心が強い、協調性がある、誠実

Gutman, L. M., & Schoon, I. (2013)「 The impact of non-cognitive skills on outcomes for young people. Education Endowment Foundation」より

学校法人浄泉寺学園

洗心幼稚園 認定こども園